

イノベーション創出
に資する施設整備

学生の修学支援
に資する施設整備

グローバル化に
対応した施設整備

そ の 他

グローバル化時代を生き抜く「知」の交流拠点として

基本情報

大学名：岡山大学
建物名：中央図書館
工期：平成25年8月～平成26年3月
構造・階数：RC 地上3階
延床面積：16,266㎡
（改修面積 3,267㎡）
（増築面積 298㎡）
事業費（設計費含む）：655,448千円



建物 外観写真（改修後）



建物 外観写真（改修前）

整備の方向性

○大学図書館をグローバル化時代を生き抜く「知」の交流拠点にリニューアル

- ・ 建築後55年を経過した老朽化が著しい施設の耐震性の確保と機能改善を行うとともに、外観、内装を一新。
- ・ 学部や研究科の境界を越えた全学的な活動が可能で、全世界で活躍する人材輩出のための基盤であるリベラルアーツを醸成する場としての附属図書館改革において、大きな一歩となった。
- ・ ラーニングコモンズの新設や語学学習コーナーの充実化等により、多様化する利用者ニーズに対応。

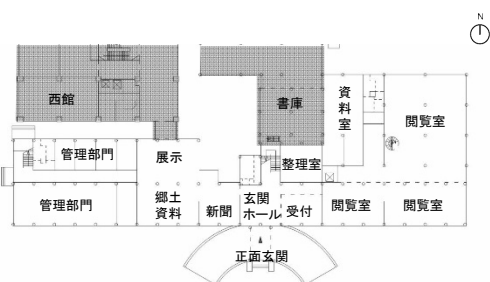
計画・設計上のポイント

○利用者が望む利便性と機能性にすぐれた開放的で明るい学修環境の整備

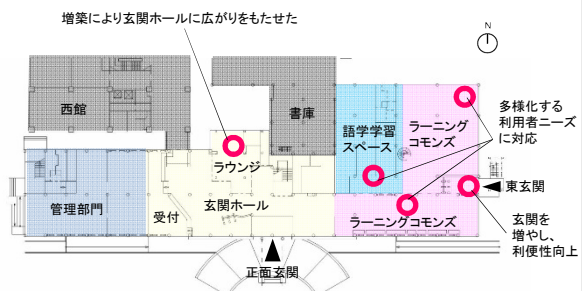
- ・ 岡山大学のシンボルでもある「時計塔」の意匠を大切に残しつつ、周辺をガラスウォールに変更。多くの光を取り込み明るく開放的な学修空間となっただけでなく、建物内から岡山大学キャンパスの景観や桜・紅葉が楽しめるようになった。
- ・ 増築によって、本館の中央部に正面玄関としてふさわしい広がりを持たせた。
- ・ 1階～3階のそれぞれで論語の“知好楽”をテーマにした空間づくりを行い、利用者の皆さんのその時々々の学修にふさわしいスタイルが選択でき、知の輪を広げ、知の心を熱くする空間を創成した。
- ・ 正面玄関のほか、東側（食堂・売店側）にも玄関を設け、利便性を向上させた。

1階 未来を切り開く空間

- ・ 1Fは多様な人が集まり、アイデアや思いを出し合える空間とした。お互いに刺激しあうことでよりよいものが生まれる“アクティブな学び”の場である。



Before



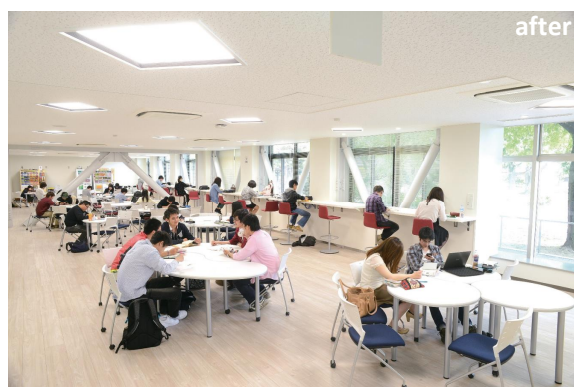
After



正面玄関



ラーニング
コモンズ

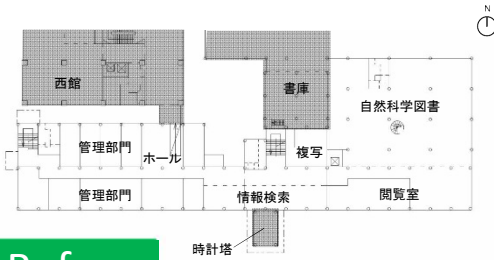


語学学習
スペース

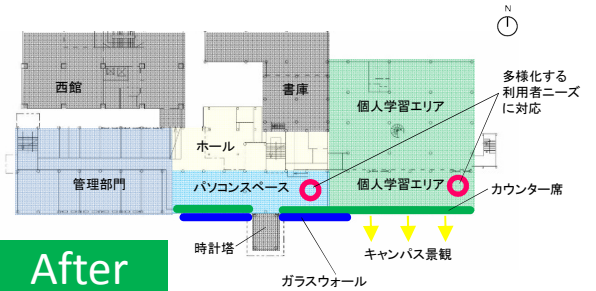
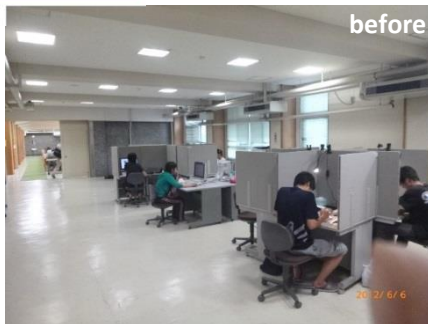


2階 現在(いま)を感じる空間

- ・ 2 F はひとりでじっくり学習するための個人学習スペース。窓側にはカウンター席も用意。目の前には岡山大学構内の緑が広がる。



Before



After



パソコン
スペース

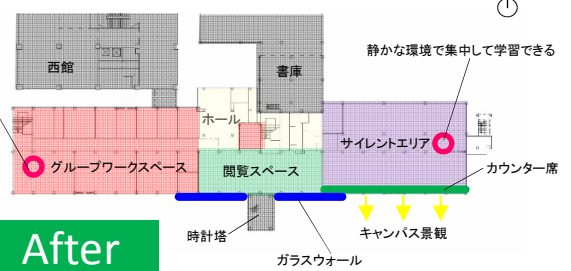


3階 知の継承に触れる空間

- ・ 3 F は東部にはより静かな環境で集中して学習するためのサイレントエリア、西部にはグループワークスペースを配置。



Before



After



閲覧スペース
サイレントエリア



グループワーク
スペース



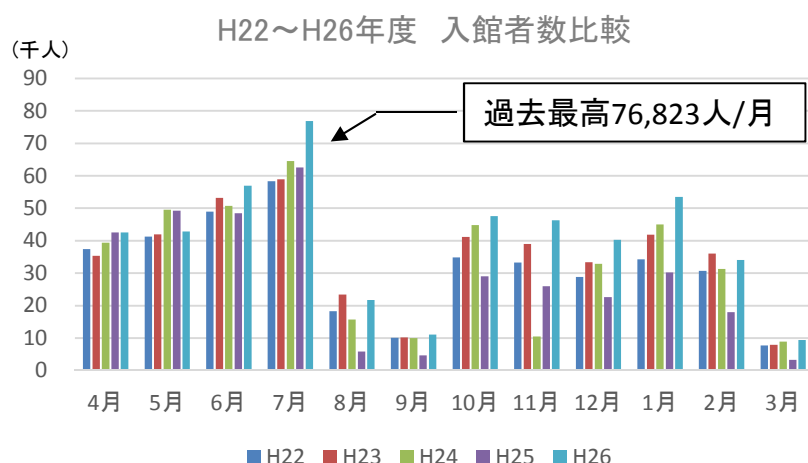
施設整備の効果

○学生が集い学べる場所が充実し、新たな「学修の場」としての機能強化へ大きな一歩

- ・正面の時計台脇の壁面をガラス張りにし、学生から「開放的で明るくなった」という声が聞かれる。
- ・1階では学生らが飲み物を片手に楽しそうに学ぶ姿が見られ、3階のグループワークスペースを利用して共同学習する学生も多い。
- ・正面に加えて東側（食堂・売店側）にも玄関を設けたことにより学生や教職員の行き来もしやすくなった。

○入館者数の増加

■ 入館者数



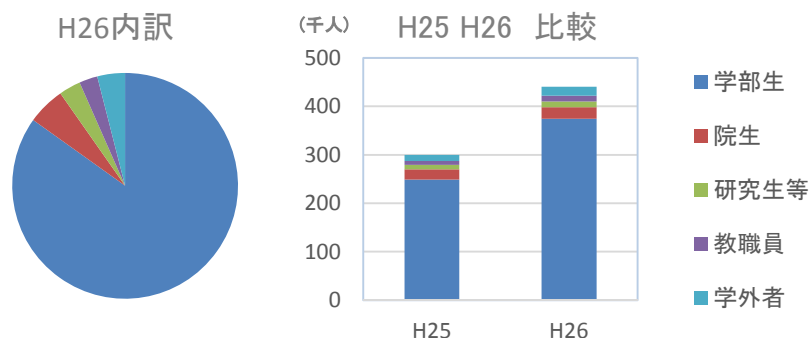
○平成26年5月9日に
リニューアルオープン。

○6月には前年を上回り、
7月は前年比1.2倍の
過去最高を記録した。

※改修後、ほとんどの月間実績で
入館者数が過去5年間の最高値
となった。

■ 入館者数統計詳細（機械集計データ5～3月分を対象）

身分別



○対前年同月期の合計で
1.47倍に増加した。
身分別でもすべての層で、
大きく増加している。

○学部学生が約85%を占め
ている。